

## 盲導犬育成業務について

- 歩行指導員中野薫が平成 30 年 3 月 31 日をもって退職するため、後任の歩行指導員を迎え、その指示のもと訓練業務の新しい体制と環境を整えることを最優先事項とする。なお、本計画書作成時点では後任の人選について関係各所と調整中。着任は平成 30 年度前半期となる見通し。
- この一環として、後任の歩行指導員の助手 1 名を雇用し、これに対し訓練業務についての基礎的な教育をおこなう。
- 次の優先事項として、平成 30 年度はこれまで度々頓挫していた自家繁殖を本格的に開始し、将来に渡り子犬が安定して供給されるための体制づくりをおこなう。具体的には、協会保有の繁殖犬（種牡・台牝）の交配を試みることに、協会保有の台牝と外部から提供される種牡間の交配（人工授精の可能性を含む）を試みることに、並びに然るべきルートを通じて新たな台牝を購入することである。
- 平成 30 年度前半期に子犬飼育奉仕者（パピーウォーカー）宅から協会に戻る 2 頭の盲導犬候補犬について訓練をおこない、うち 1 頭を盲導犬適性審査に合格させることを訓練の目標とする。
- 協会の盲導犬使用者 4 名に対し、必要なフォローアップを提供する。当該フォローアップについて、協会は前任の歩行指導員中野薫に必要に応じて都度その業務を嘱託する。

## 盲導犬育成業務を支えるボランティアについて

- 自家繁殖の開始に伴い、平成 30 年度にはより多くの子犬飼育ボランティアの協力が必要となることが予想される。生まれた子犬がスムーズに飼育ボランティア宅に入れるよう、広報活動をこれまで以上に強化し、できるだけ多くの子犬飼育ボランティアの確保を目指す。また、未経験者からの応募が増えるよう、丁寧な助言指導を心がける。
- キャリアチェンジ犬飼育ボランティアについて、平成 30 年度に進路変更する犬は最多で 2 頭のみである事実を鑑み、その新規募集を少なくとも前半期には一旦停止する。
- すでにキャリアチェンジ犬を引き取っているボランティアに対しては、地元の愛犬家団体（水戸フライングドッグクラブ）と連携し、しつけ教室の開催やトレーナーの紹介等をおこない、引き取り後のケアを充実させる。

## 広報啓発活動と財源強化のための取り組みについて

- 以下に挙げる諸々の活動を通し、社会全体へ視覚障がい者、並びに盲導犬育成事業に関するより深く正しい知識の普及に努める。また、これらの活動を通して盲導犬育成事業への理解を求

め、財源の充実強化に繋げていく。

- 外部団体（例：社会福祉協議会、教育機関、慈善団体）に働きかけ、その協力のもと、講話や学習会を開催したり、冊子等を配布したりする機会を増やす。次世代育成の重要性に鑑み、特に小学生をはじめとする若年層を対象とした啓発業務に重点を置く。
- 一般の希望者を対象とした協会主催の学習会を原則月1回開催する。また、チラシの作成配布、インターネット上での告知を通してこの学習会の周知に務める。
- 水戸京成百貨店／小沼渉写真事務所の支援のもと、盲導犬の写真展（初夏）を開催する。
- 盲導犬に関する講話の依頼を可能な限り多く受諾し、又は官民大小問わず様々な催事での広報活動を可能な限り多くおこなう。
- ライオンズクラブやロータリークラブ等の慈善団体と更なる交流を深め、組織的な助力を仰ぐ。
- 協会の支援団体である「ローリー基金」が開催する様々な支援活動（チャリティーコンサートや街頭募金活動など）に対して、職員と広報犬を派遣するなど積極的に協力し、支援活動の効果が向上されるよう努める。
- 愛犬家団体「水戸フライングドッグクラブ」（水戸市）と「ケーナインディスクジャパン」（神戸市）の支援のもと、愛犬家を対象としたチャリティーイベントを開催する。

## その他

- 法人の名称を変更する。
- 諸事情により平成29年度に滞っていた公益認定申請の手続きを再開する。
- より多角的な視点を経営に反映する目的のため、理事の人数を増員する。
- 上述した事業計画の達成に必要と考えられる諸々の副次的事業をおこなう。

以上、平成30年3月20日、平成29年度第3回理事会にて決裁、同日、評議員会にて承認。

一般財団法人 全国盲導犬協会

事務局：〒312-0052 茨城県ひたちなか市東石川 3444-7 TEL: 029-272-7210

訓練施設：〒312-0052 茨城県ひたちなか市東石川堂端 3610-10 TEL: 029-275-3122